

平成26年度第3回地方独立行政法人桑名市総合医療センター評価委員会

平成26年7月24日（木）

【事務局（加藤）】 それでは、皆様、こんばんは。定刻になりましたので、ただいまから平成26年度第3回地方独立行政法人桑名市総合医療センター評価委員会を開催させていただきます。

委員の皆様には、大変お疲れのところ、ご出席を賜りまして、ほんとうにありがとうございます。

それでは、会議に入ります前に資料の確認をさせていただきます。ちょっと資料が多いですので、座って失礼をさせていただきます。

本日使用いたします資料につきましては、平成26年度第3回桑名市総合医療センター評価委員会次第、そして、資料1としまして、地方独立行政法人桑名市総合医療センターの平成25事業年度に係る業務実績に関する評価結果（案）でございます。そして、資料2といたしまして、A3判でございますが、地方独立行政法人桑名市総合医療センターの平成25事業年度に係る業務実績に関する評価結果（小項目評価）（案）、同じく資料3、第1期中期目標期間の業務実績に関する評価について、資料4といたしまして、A4の横判でございますが、第1期中期目標期間における業務実績報告書、資料5といたしまして、第1期中期目標期間中の収支の推移及び、次のページになりますが、第1期中期目標期間中の資金の推移でございます。そして、資料6といたしまして、地方独立行政法人桑名市総合医療センター過去の評価結果、資料7といたしまして、地方独立行政法人、これは以前は桑名市民病院、そして、平成24年からは桑名市総合医療センターの平成21から平成24事業年度に係る業務実績に関する評価結果、資料8といたしまして、第1期中期目標期間の業務実績に関する評価結果（案）、そして、席次表でございます。また、前回、第1回、第2回の会議で使用した資料のうち、地方独立行政法人桑名市総合医療センターの業務実績に関する評価の基準、業務実績報告書の構成、そして、参考資料といたしまして、参考資料1、A4判の横でございますけれども、平成24年度地方公営企業年鑑数値との比較、そして、平成25年度の財務諸表等、続きまして、参考資料2、損益計算書における前年度との比較、そして、地方独立行政法人桑名市総合医療センターの第1期中期目標、第1期中期計画、そして、平成25事業年度計画、そして、追加資料の1といたしまして、

A4の横判のグラフになりますけれども、25年度桑名市総合医療センター各月収支（簡易キャッシュフロー）、同じく追加資料の2といたしまして、25年度桑名市総合医療センター上期・下期収支（簡易キャッシュフロー）を本日も引き続き使用いたしますので、大変資料が多いですけれども、どうかよろしく願いいたします。資料のほうはよろしいでしょうか。

それでは、次に、本日の議事進行につきまして簡単にご説明をさせていただきます。

前回、平成25年度財務諸表等につきましては、総合医療センターからご説明をさせていただいたところで終わっているところでございますので、今日は、その平成25年度財務諸表等について委員の皆様からご意見をいただくところから始めさせていただきますので、どうかよろしく願いいたします。そして、次に、平成25事業年度の業務実績に関する評価結果（案）につきましてご意見をいただきます。そして、その後でございますが、第1期中期目標期間の業務実績に関する評価に入ります。法人からの報告とそれに対する評価をお願いいたしますので、よろしく願いいたします。

それでは、議事のほうに入りますので、豊田委員長のほうからお願いいたします。

【豊田委員長】 それでは、今日は大変議事が多いということですので、早速ですが、議事に入ります。

まず、平成25年度財務諸表等でございますけれども、前回、総合医療センターのほうからの説明が終わっておりますので、委員の皆様方からご質問、ご意見をいただくということで始めさせていただきます。

それでは、委員の皆様、いかがでしょうか。ご質問、ご意見、ございましたらよろしくお願いいたします。いかがでしょうか。

財務諸表のご専門は木村委員なので、木村委員からお願いしたいと思います。

【木村委員】 平成25年度決算報告書、これは前期との比較の資料があったと思うんですが、参考資料2、損益における前年度との比較というところで、営業費用の中の材料費、これが前年度は営業収益に対して20%だったのですが、25年度が22%に増えております。この理由と何か特別な理由があるのかどうか。一般的には医業収益に対してこれは変動費ですので、大体同じ割合の材料費がかかるというのが普通なんですけれども、その辺、教えていただきたいんですけど。

【豊田委員長】 では、病院のほうからご説明をお願いいたします。

【新山（統合連絡室係長）】 統合連絡室の新山です。

今のご質問の件なんですけれども、材料費が前年に比べて比較をとりますと1億4,500万円上がっているというところのご質問かと思えます。これに関しましては、今委員が言われましたが、比率で約1.5%程度以上上がっております。主な要因としましては、収益構造の変化が影響していると考えられます。この参考資料2にもありますが、材料費は1億4,500万円動いており、このうち薬品費が3,300万程度、診療材料費が1億1,200万程度増加している内訳となっております。こちらに関しまして、薬品費に関しましては、西医療センターが主な増加となりました。こちらは高額薬品の使用が要因となっております。薬品名としましてはレミケード、これは外来で使っております。リコモジュリン、入院で使っております。アービタックス、これは入外で使っております。ゾシンなどが影響していると考えられます。このレミケードとかアービタックス、こちらは外来使用がありますため、これは外科で使っておるんですけれども、外科の外来収入は前年対比増加しております。ただ、西医療センター、皮膚科の常勤医が不在になったことによりまして、西医療センター全体で見ますと外来収入が減少しております。ですので、この薬剤が増えた分のところは増えておるんですが、そのほかの要因で収益が減っているという状況が生まれております。

また、その他高額薬品、抗生剤が大半を占めておりまして、抗生剤、入院のほうで使っているものが大半でございます。DPCのため包括となっております、収入自体は変わらず、経費が上がっているという状況が収入につながらなかったという状況になっております。

また、診療材料費ですけれども、こちらは1億1,200万円増加しておりますが、このうち約1億円が東医療センターの要因となっております。東医療センターとしましては、循環器のカテ及びペースメーカーの件数がかなり増加いたしました。これに伴いまして、循環器科としましては24年と比較しますと2億程度増収をしております。ただ、これに反しまして、ほかの診療科で減収が起こっております。ですので、今まで稼いでいた診療科及び今回稼いだ診療科、こちらの内容、診療内容の差がこの比率の変動につながったかと思われまます。ですので、材料が上がりましたが、収益につながっていないというのは、このあたりに要因があると思われまます。

以上です。

【豊田委員長】 というお答えですが、いかがでしょうか。

【木村委員】 わかりました。

【豊田委員長】 投薬費、材料費、ともに出来高払いといいますか、それで患者様から回収できる部分と包括で使い過ぎるとその分収入として返ってこない部分と両方あるわけですが、大半は患者さんから返ってくるものなんですよ。ですので、新たな手術をやって、あるいは新たな薬品を使った治療をやって治療をやって、患者さんから返ってくるのであれば、その分収益として返ってくるわけですから、どんどんやっていただいてもいいわけですよ。ところが、それはそれでよかったんだけど、そのほかの部門の収益が減ったと。そういうことで、材料比率とか、そういうので計算すると高くなってしまったと、そういうご説明ですよ。

ほかはいかがでしょうか。

そうしますと、じゃ、ほかの部分で収益が減ったとおっしゃいましたが、具体的にどういふほかの部分で減ったんでしょうか。

【新山（統合連絡室係長）】 東医療センター、収益が下がったところというのは、主に要因があるというのは外科になります。外科も救急の受け入れであったりとか、手術件数は増加しております。ですので、DPCの出来高のところは下がってはおりません。ただ、入院ケモを外来へ持っていきました。ここが入院の収益が落ちている要因だと思います。

【岡田（東医療センター病院長）】 東医療センターの岡田でございます。外科の当事者ですのでご説明します。

ケモ、抗がん剤の治療をスタッフの少ないこととスペースがないことから、旧山本総合病院時代に入院ケモでいくのが収入につながると。短期入院でケモを続けて行ってまいりました。ただ、収入はそれで確保されておったんですけども、患者の立場からいうと、通院で、できれば日帰りというのが現在の時流であります。医局員の交代などもあって、大きな病院では外来ケモでやっているところでもありますので、新病院では外来ケモでやろうという大きな方針が打ち出されていますところから、入院ケモを一部外来ケモに切りかえていったと。それが随分減収につながって、これはちょっと反省する点ではないかとは自分では思っておりますが、そういう事情であります。

【豊田委員長】 そのほか、何かありますか。よろしいですか。

どうぞ。

【郡（西医療センター事務長）】 今回の25年度の実績につきましては、やはり西医療センターの医業収益減というのが全体に影響しているところです。西医療センターにつきましては、25年度、24年度の比較では、入院収益だけで約1億ぐらい減収になってお

ります。その要因については、前回、理事長からも発言があったんですけども、医者
の件、内科医が10名から8名に減った。それと、皮膚科、あるいは1人診療科の先生が退
職されたということもありまして、入院収益で約1億、外来収益で1,000万ぐらい下
っております。全体の収益減、全体では横ばいだったんですけども、その中で西医療セ
ンターの減というのが法人の収益に影響したことは否めないことだと思っています。

【豊田委員長】 医者の減が1つの要因であったと。入院ケモを外来へ持っていったと
いうことと医者の減、その辺ですかね、大きな要因としては。そういうご説明ですが、い
かがでしょうか。伊佐地先生、何かございますか。

【伊佐地委員】 外来ケモと今の時勢、かなりそれが問題、外来での化学療法という加
算がとれていないということなんですね。

【竹田（総合医療センター理事長）】 そうということです。化学療法室がないです。

【伊佐地委員】 ですから、将来的にはそれをつくれば同じぐらいの収益が取れるんだ
ろうと思うんですけど、それがなかったということ。

【竹田（総合医療センター理事長）】 ですから、新病院には外来化学療法室というのが
ちゃんとつくってあるんですけども、ちょっと厚労省の方針が変わってきまして、入院
でのケモに対してもかなり手厚くつけようと。あまりにも外来にシフトし過ぎて、ちょ
っと入院へ戻そうと、そういう動きもありますので、昔みたいにかく外来へ持ってい
って化学療法室でやればいいと、それでもないみたいですね、最近は変わってきました
ね。その辺も見据えてやっていきたいと思っています。

【豊田委員長】 新病院がなかなかできないという1つの要因になっていると、そう
いうことだと思います。

ほか、ご意見はございませんでしょうか。東先生、何かあります。

【東委員】 私もこの材料費が増えたのが、普通は材料費が増えると大きな手術なんか
のいろんな材料とかそういうものが増えるんだから増えて当たり前じゃないかなと思
うところが気になりましたけど、1つには、僕がこのときに解釈したのは、結局、新しい診
療科ができましたよね。幾つかできた。そうすると、その診療科としては症例はまだ来
ないけれども、それに対する備えとしていろんなかなり高い材料がストックという
か、今までいろいろストックされている。そういう部分があるのではないか。だから、
言ってみれば、そのための時期なのかなとちょっと思ったんですけど、今のご説明を
聞いていると、結局、ほかの診療科がたくさん材料を買う、ほかの診療科の収入が
少なかったんだということ

で、まあ、そうなのかなとちょっと思いましたけど、それから、保険の査定がなかなか、今回も25年度のほうが増えているということもあります。

それから、今後のことで気になるんですけど、結局、この4月から7対1というものが大変厳しくなってきました。今まで、今度の新病院は間違いなく急性期に特化した病院ということで、我々もそれに今でも大いに期待しているわけですがけれども、病院の建築が設備が遅くなることでこの7対1の問題を、結局は入院の収入にかなりつながってくる問題なので、これを今後どういうようにしていくのかなということをちょっと聞きたいです。

【竹田（総合医療センター理事長）】 7対1の件に関しましては10月まで一応移行期間になっておりますので、4月から毎月、看護必要度とか、在宅、それを計算しておりますけれども、看護必要度はみんな15%を超えています。かなり高い値が出ていますので、ですから、3センターとも在宅へのあれも問題がありますので、今のところは7対1を維持できるだろうというふうに、そういう見通しになっております。ですから、将来的に、2年後にはもっと厳しくなる可能性がありますけれども、今のところはいけそうです。

【豊田委員長】 ありがとうございます。

ほか、よろしいでしょうか。

それでは、この財務諸表につきましては大きな問題はなさそうということですので、地方独立行政法人法の規定に基づく、市長が財務諸表を承認するに当たりましての評価委員会としての意見、これを述べないといけないんですけども、いろいろ細かいご指摘はありましたけれども、特になしということにさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

ありがとうございます。それでは、そのようにさせていただきます。

続きまして、平成25事業年度の業務実績に関する評価結果（案）に入ります。

まず、前々回と前回で行った評価のうち、法人の自己評価と評価委員会の評価が異なった項目のコメントを確認いたします。

事務局から説明をお願いします。

【事務局（黒田）】 地域医療対策課の黒田でございます。

前々回と前回の評価委員会におきまして、法人の自己評価と評価委員会の評価が異なった事項のコメントにつきまして、評価委員会のご議論を踏まえ、まとめさせていただきましたので、ご説明申し上げます。

資料2の地方独立行政法人桑名市総合医療センターの平成25事業年度に係る業務実績

に関する評価結果（小項目評価）（案）、このA3判ですけど、それをごらんいただきたいというふうに思います。その中の23から24ページをごらんください。

そのこの大項目第1、市民に対して提供するサービス、その他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置、中項目3、患者サービスの一層の向上、小項目（5）ボランティアとの協働によるサービス向上ですが、評価委員会のコメントとしましては、新規登録はなかったものの、ボランティア活動件数は前年並みを維持している。また、ボランティア活動においては市民の協力も必要であり、法人側の責任だけではないとしており、法人の評価2に対しまして評価委員会の評価は3でございました。

次に、26ページをごらんください。

中項目4、より安心して信頼できる質の高い医療の提供、小項目（2）患者中心の医療の実践ですが、評価委員会のコメントとしましては、患者アンケートの満足度が3病院とも80%を超えており、非常に高い満足度となっているとしており、法人の評価3に対しまして評価委員会の評価は4でございました。

次に、38から39ページをお願いします。

大項目第2、業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置、中項目2、効率的かつ効果的な業務運営、小項目（8）収入の確保と支出の節減、ア、収入の確保でございますが、評価委員会のコメントとしましては、医業収益は計画値を達成できなかったものの、下半期の収益性は改善傾向にあり、次期事業年度の収入回復が見込まれるとしており、法人の評価2に対しまして評価委員会の評価としては3でございました。

次に、43ページをごらんください。

中項目2、小項目（8）収入の確保と支出の節減、イ、費用の節減でございますけど、評価委員会のコメントとしましては、特に人件費が増加しているが、桑名東医療センターの常勤医8名増員に伴う人件費の増加は将来に向けての先行投資であり、新病院開院に向けて必要な経費である。また、キャッシュベースにおいて収支の均衡が図られており、資金ショートは発生していないとしており、法人の評価2に対しまして評価委員会の評価は3でございました。

以上でございます。

【豊田委員長】 ありがとうございます。

ただいま事務局から説明がありましたコメントにつきまして、これによろしかったでしょうか。よろしいですかね。

ありがとうございます。なかなか新病院の建設の入札がうまくいなくて、現場の先生方、あるいは医療職員の方々、事務職員の方々、非常に困難な状況であって、ややもすればやる気も失う可能性がありますので、この点数を上げたというのは評価委員会からのメールのメッセージでございますので、ぜひとも今年度頑張ってくださいなというふうに思います。

それでは、次に参ります。平成25事業年度の業務実績に関する評価結果（案）につきまして、事務局からご説明をお願いします。

【事務局（黒田）】 地域医療対策課の黒田でございます。

地方独立行政法人桑名市総合医療センターの平成25事業年度に係る業務実績に関する評価結果（案）についてご説明を申し上げます。

資料1、評価結果（案）の1ページをお願いします。

年度評価の方法でございますけど、項目別評価と全体評価を行いまして、項目別評価では、法人による自己評価をもとに法人へのヒアリングを通じまして、自己評価の妥当性や年度計画の進捗状況について小項目評価及び大項目評価を行い、また、全体評価では項目別評価の結果を踏まえまして、年度計画及び中期計画の進捗状況について総合的な評価を行ったとしております。

次に、Iでございます。大項目評価の第1、市民に対して提供するサービス、その他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置につきましては、2ページをお願いします。（3）小項目評価の集計結果から小項目に各評価点を乗じたものを合計しまして、小項目数で割り返しまして平均点を出しております。この平均点でございますけど、3.3でございます。

申しわけないんですけど、また1ページに戻っていただきまして、（2）大項目評価に当たり考慮した事項も踏まえますと、B評価（おおむね計画どおりに進んでいる）が妥当と判断しております。

次に、第2、業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置につきましては、申しわけないですけど、3ページをお願いします。3ページの評価項目の集計結果から平均点は3.0でございます。

申しわけないんですけど、2ページに戻っていただきまして、（2）大項目評価に当たり考慮した事項も踏まえますと、B評価（おおむね計画どおり進んでいる）が妥当と判断しております。

次に、3ページをお願いします。

Ⅱ、全体評価でございます。1、評価結果と判断理由でございますけど、法人の平成25事業年度の業務実績については、2つの大項目評価である、市民に対して提供するサービス、その他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置及び業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置がともにB評価であることを加えまして、以下の点の考慮して、全体としては、中期計画の達成に向け、おおむね計画どおり進んでいるが妥当と判断しております。

次に、2、全体評価に当たり考慮した事項として、ここには大項目評価に当たり考慮した事項以外のものを記載しておりますが、(1)市民に対して提供するサービス、その他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置では、重点的に取り組む医療の実施において、救急医療への取り組みとして、3病院合計の救急受け入れ数が前年度の実績を上回り、受け入れてもらえなかった数が前年度よりも下回ったこと、急性期医療への取り組みとして東医療センターにおいてP C Iの実施数が前年度の実績値を大きく上回り、当年度の計画値も達成したこと、D P C対象病院の機能評価係数Ⅱの向上への取り組みとして、後発医薬品の導入や医薬品の一括購入について当年度後半から3病院合同で取り組んでいることなど、3つの事項を上げております。

次に、4ページをお願いします。

(2)業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置では、新しい人事評価制度の構築において、医師に対する人事評価制度には看護師やコメディカルによる多面評価が取り入れられており、評価の標準化が図られていることなど、2つの事項を上げております。

次に、3、評価に当たっての意見、指摘事項等では、アンギオをはじめ、新病院において導入予定の高度医療機器を前倒しして各医療センターに導入したことについて、次期事業年度の評価時にその実績を報告していただきたい。新病院の開院が延びたことによりまして確保した医療職の人材が離れていかないように引きとめる努力をしていただきたい。広報部門を強化し、さらなる情報発信に取り組んでいただきたいなど、8つの項目を上げております。

以上でございます。

【豊田委員長】 ありがとうございます。

ただいま事務局から説明がありました評価結果(案)につきまして、委員の皆様から何

かご質問、ご意見、ございませんでしょうか。おおむね計画どおり進んでいるという全体評価でありまして、よろしいでしょうか。

(「なし」の声あり)

【豊田委員長】 ありがとうございます。

それでは、平成25年度の業務実績に関する評価結果は、事務局から説明があったとおりとさせていただきます。平成25事業年度の業務実績に関する評価については以上でございます。

続きまして、第1期中期目標期間の業務実績に関する評価に入ります。

まず、事務局から評価方法の説明をお願いいたします。

【事務局（黒田）】 地域医療対策課の黒田でございます。

第1期中期目標期間の業務実績に関する評価の進め方と評価方法についてご説明を申し上げます。

資料3、第1期中期目標期間の業務実績に関する評価についてをごらんください。

まず、(1) 評価の進め方でございますけど、評価委員会は提出された報告書をもとに法人からヒアリング等を踏まえまして、業務実績を調査、分析し、総合的な評価を行うとしております。まず、法人から提出されました第1期中期目標期間における業務実績報告書をもとに法人から説明をいただきます。次に、これに対しまして、評価委員会として項目別評価、大項目評価でございますけど、それと全体評価の2つの評価をお願いします。

次に、(2) 項目別評価（大項目評価）についてご説明を申し上げます。

中期目標期間の項目別評価の方法は、右側の波線の枠の中でございます。各事業年度の評価結果を踏まえつつ、当該期間におけます中期目標の達成状況を調査、分析しまして、その結果を考慮して大項目ごとに進捗状況について5段階による評価をお願いします。

(2) 項目別評価につきましては、市民に対して提供するサービス、その他の業務の質の向上と業務運営の改善及び効率化の2つでございます。過去の各事業年度評価結果については、一覧の表のとおりでございます。

平成25年度の評価結果は先ほど委員の皆様から3.3の評価を受けておりますので、過去5年間の評価結果の平均としまして、市民に対して提供するサービス、その他の業務の質の向上につきましては、小項目評価の集計結果でございますけど、そこから計算しますと平均点は3.2でございます。また、その下の業務運営の改善及び効率化につきましては、小項目評価の集計結果から平均点は3.3でございます。2つの項目の第1期中期目標期間

の5年間の評価でございますけど、ともにその下の波線の枠の中で判断していただきますと、5年間の評価でございますけど、ともにB評価でございます。評価委員会としてご意見があればお伺いをさせていただきたいというふうに思っております。

次に、(3)全体評価につきましては、全体評価の方法としまして、①評価委員会において項目別評価の結果を踏まえ、年度計画及び中期計画の全体的な進捗状況について記述式による評価を行う。②全体評価においては、法人化を契機とした病院改革の取り組み、法人運営における自立性、機動性の発揮、財務内容の改善、病院運営の透明性の向上などを積極的に評価するとしております。

これらの基準を踏まえまして、これまでの各事業年度の評価結果や議事録等をもとに、資料8でございますけど、その中の第1期中期目標期間の業務実績に関する評価結果(案)としてまとめさせていただいております。これを参考に評価委員会としての評価をお願いしたいというふうに思っております。

以上でございます。

【豊田委員長】 ありがとうございます。

それでは、まず、第1期中期目標期間における業務実績報告書につきまして、総合医療センターのほうから説明をお願いいたします。資料の4ですかね。

【北野(統合連絡室副室長)】 では、統合連絡室、北野よりご説明させていただきます。

資料4の1ページ目をお願いいたします。

まず、大項目の第1、中期目標の期間は平成21年10月1日から平成26年3月31日までの4年6カ月間とし、また、医療法人山本総合病院との統合に伴い、平成24年4月1日に中期計画の変更を行っております。

次に、大項目の第2、市民に対して提供するサービス、その他の業務の質の向上に関する事項、中項目の1、高度医療の提供、小項目の1、重点的に取り組む医療の実施につきまして、救急の受け入れ実績を表に示してございます。なお、こちらの表では、平成21年9月以前の数字も含めた通年の実績値を比較のために掲載させていただいております。これにつきましては、次の2ページ以降の表についても同様に通年の数字を掲載させていただいております。

では、2ページをお願いいたします。

疾患別患者数としまして、がん、脳血管障害、循環器疾患、糖尿病、それぞれの患者数を病院別に記載いたしております。なお、平成24年度分からは桑名東医療センターの診

療分を加えております。

3 ページをお願いいたします。

小項目の2、診療機能の整備としまして、診療機能の充実及び専門外来の設置につきまして、それぞれ病院別に記載いたしております。

次に、4 ページ、小項目の3、高度医療機器の計画的な整備及び更新につきまして、主な整備状況は表のとおりとなっております。

次に、小項目の4、災害時及び重大な感染症の流行時等における医療協力体制の整備に関しましては、新型インフルエンザの流行時における対応を行ったほか、桑名東医療センターが災害医療支援病院の指定を受けております。

次に、中項目の2、医療水準の向上、小項目1、医療職の人材確保につきましては、三重大学の支援等により常勤医師を確保いたしました。また、小児、周産期医療の充実に向けた取り組みを行っております。

次に、5 ページをお願いいたします。

常勤医師、看護職員数の推移をグラフで示させていただいております。また、そのほか研修医、看護師及び医療技術職員の確保に関する取り組みを行っております。

小項目の2、医療職の専門性及び医療技術の向上では、法人が負担する費用の増額等の支援を行っております。

6 ページをお願いいたします。

学会、発表会等への延べ参加者数は表のとおりとなっております。また、平成26年3月現在で法人の認定看護師は3人、専門看護師は1人、認定看護管理者2人となっております。

次に、小項目の3、地域医療連携の推進では、紹介率及び逆紹介率の向上に努めました。各病院の実績値は表とグラフに示したとおりとなっております。

次のページをお願いいたします。

他の医療機関からの検査受託件数も表に示したとおりとなっております。MRI及びCTについては計画値を達成しております。ただし、睡眠時無呼吸症候群簡易検査については計画値を下回っております。

小項目の4、クリニカルパスの作成及び適用と後方支援体制の整備につきまして、クリニカルパス件数は法人全体で95件となっております。また、各種地域連携パスの運用を開始いたしました。

9 ページ、後方支援する医療機関数は23となり、こちらは計画値を達成しております。

次に、中項目の3、患者サービスの一層の向上、小項目1、診療待ち時間等の改善では、患者アンケート等を実施し、現状を調査いたしました。また、検査機器の稼働率向上を図っており、稼働件数については表に示したとおりとなっております。

次に、10 ページ、手術件数につきましては増加傾向とはなっておりますけれども、計画値である3,000件には至りませんでした。

次に、小項目の2、院内環境の快適性向上では、外来待合にモニターを設置する等の対策を行っております。

小項目の3、患者の利便性向上では、無料シャトルバスの運行や医療通訳者の配置等を行っております。

小項目の4、職員の接遇向上では、定期的に接遇研修を実施し、職員の接遇向上に努めました。

小項目の5、ボランティアとの協働によるサービス向上では、院内絵画展等にボランティアの方に参加いただきました。

中項目の4、より安心して信頼できる質の高い医療の提供、小項目1、医療安全対策の徹底では、各病院において院内感染対策及び医療安全対策に取り組みました。

小項目の2、患者中心の医療の実践では、インフォームドコンセントの徹底に取り組みました。

次に、小項目の3、法令の遵守等では、医療法をはじめとする関連法令を遵守するとともに、個人情報の保護並びに情報開示を適切に実施いたしました。

小項目の4、電子カルテシステムの導入とIT化の推進では、新病院での電子カルテ運用に向けての検討を行いました。

小項目の5、病院機能評価の認定基準の維持では、3病院ともに認定を取得、ないし更新いたしました。

小項目の6、市民への保健医療情報の提供及び発信では、広報の発行、市民公開講座や病院祭、患者教室の定期的な開催をいたしました。

13 ページでは、法人のすぐれた取り組み、特色ある取り組みとして4項目を上げております。また、今後の課題、改善を要する取り組みとしまして、新病院整備事業の進捗及び運営計画等の策定をはじめとする計5項目を上げております。

次に、14 ページをお願いいたします。

大項目の第3、業務運営の改善及び効率化に関する事項、中項目の1、地方独立行政法人としての運営管理体制の確立に関しまして、3病院合同の経営企画会議を定期的開催したほか、外部理事の任命や新病院準備室や統合連絡室の設置を行っております。さらに、竹田新理事長の着任に伴い、事務担当理事を任命する等、法人の運営及び意思決定の迅速化を図りました。

中項目の2、効率的かつ効果的な業務運営、小項目の1、適切かつ弾力的な人員配置では、医師をはじめとする職員の法人内異動や病院間での業務応援を行いました。

小項目の2、事務部門の職務能力の向上では、桑名市からの派遣職員は5人となっております。また、医事業務の専門知識を持つ職員の採用や職員人事交流を実施いたしました。

小項目の3、新しい人事評価制度の構築では、職員人事評価制度を運用しており、また、桑名西及び南医療センターでは医師人事評価制度についても運用を開始いたしました。

小項目の4、勤務成績を考慮した給与制度の導入では、行動評価及び業績評価に連動した給与制度を導入しました。

小項目の5、職員の就労環境の整備では、医師、看護師の業務負担の軽減に取り組みました。また、職員がメンタルヘルス相談を受けられる体制を整備しました。

小項目の6、業務改善に取り組む組織風土の醸成では、管理職会議等において必要な情報の共有を行うとともに、人事評価制度の整備を行いました。

小項目の7、予算の弾力化等では、薬品費の節減や医療機器の保守契約の内容を見直すことによる経費節減を行いました。

小項目の8、収入の確保と支出の節減につきましては、医師及び看護師の充実や7対1入院基本料の維持、DPCデータの活用等に取り組みました。また、その下に診療実績に関する表を各病院ごとに掲げております。

次の17ページでは主な指標をグラフで示させていただいております。左上の新入院患者数については増加傾向になっておりますけれども、平均在院日数が短縮したことにより、その右の延べ入院患者数については平成25年度は減少いたしております。外来及び入院の診療単価の推移については、その下のグラフのとおりとなっております。そのほか、収入の確保に向け、未収金対策等に取り組みました。

18ページをお願いいたします。

費用の節減につきましては、後発品の採用促進に取り組みました。後発品の採用数については増加しておりますけれども、新薬の採用が増えたこと等により、採用率については

24年度以降低下傾向になっております。

19ページをお願いいたします。

薬品及び診療材料における同種、同効果のものの整理及び3病院間での品目の統一を進めるとともに、期限切れ廃棄品の削減に努めました。材料費対医業収益比率については平成25年度は21.7%となり、計画値を達成しております。

次に、ウの委託業務の見直し等に関しまして、職員が費用削減目標を設定し、契約交渉に当たる等、経費節減に努めました。

20ページでは経費対医業収益比率のグラフを示しておりますが、平成25年度は18.8%となっており、新病院関連のコンサルタント費用や看護学生修学資金貸与費の増加により計画値を上回っております。

次に、エの人件費につきまして、中期計画では人件費対医業収益比率50%台の達成に努めることとしておりますが、平成25年度の実績値は63.1%となり、計画値を達成することができませんでした。

21ページでは、すぐれた取り組み、特色ある取り組みとして4項目を上げております。また、今後の課題、改善を要する取り組みとしては、さらなる収支の改善に向け、医業収益の増収及び費用の節減を図ることと、第2期中期目標期間中には新病院が開院予定であり、施設整備や医療機器の更新を継続的に行い、将来にわたり高度医療を提供できるような安定経営の維持、以上2点を上げております。

次に、22ページをお願いいたします。

大項目の第4、財務内容の改善に関する事項では、中期目標期間中に経常収支比率100%以上を達成することとされております。平成21年度から24年度にかけて経常収支比率100%以上を達成しましたが、平成25年度については達成できませんでした。なお、こちらについては、資料5としまして別紙資料を配付させていただいております。第1期中期目標期間中の収支の推移及び資金の推移をグラフで示させていただいております。なお、平成21年度につきましては、10月から3月までの半期分のみの実績値となっております。

続きまして、第4、短期借入金の限度額は18億円としておりますが、借入残高はなしとなっております。

次に、第5、重要な財産を譲渡し、または担保に供する計画につきまして、中期計画ではなしとしておりますが、平成25年度に桑名西医療センター跡地活用検討委員会を開催

し、跡地活用方針及び基本構想を策定いたしました。

次に、第6、剰余金の使途につきましては、該当なしとなっております。

次に、第7、料金に関する事項では、法人の規定に基づき適切に取り扱いました。

次に、24ページ、大項目の第5、その他業務運営に関する重要事項では、桑名市地方独立行政法人法施行細則第4条で定める事項を中期計画に記載しております。

まず、中項目の1、地域の医療水準向上への貢献に関する計画では、研修会の開催や実習生の受け入れ、市民公開講座等での保健医療情報の提供を行いました。

中項目の2、医療機器の整備に関する計画については4ページの表で示させていただきましたので、省略させていただきます。

中項目の3、新病院移行の準備では、新病院整備に向けて行った各種取り組みを上げさせていただきます。

中項目4、積立金の処分に関する計画では、該当なしとなっております。

中項目の5、法人が負担する債務の償還に関する事項では、法人収支計画に基づき、桑名市に対して負担する債務の償還を確実に行いました。

以上、第1期中期目標期間の業務実績に関する説明でございます。よろしくお願いいたします。

【豊田委員長】 ありがとうございます。

ただいま総合医療センターのほうから説明がありましたが、評価委員会といたしまして第1期中期目標期間の全体を通しての評価に入ります。業務実績に関する評価の基準に基づいて評価をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、まず、業務実績報告書の1ページの大項目、市民に対して提供するサービス、その他の業務の質の向上につきまして評価をいたします。

先ほどの事務局からの説明資料によれば、大項目、この資料の3ですね。資料の3によれば、市民に対して提供するサービス、その他の業務の質の向上についての各事業年度の評価結果の平均はB評価、おおむね計画どおり進んでいるというふうになっております。評価委員会の意見としてはいかがでしょうか。先ほどの医療センターのほうからのご説明もごらんになりまして、事務局のB案ということでもいいかどうか、ご審議をよろしくお願いいたします。

委員の皆様も途中で交代しておられますので、最初の5年間の前半の部分をご存じないわけですけれども、先ほどのご説明をお聞きになって全体を通していかがでしょうか。一

応、計算上はBということになるわけですが、Bということでもよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

【豊田委員長】 ありがとうございます。それでは、市民に対して提供するサービス、その他の業務の質の向上という大項目につきましては、B評価、おおむね計画どおりに進んでいるということにさせていただきます。

それでは、次の大項目、業務運営の改善及び効率化につきまして、評価委員会としての評価をご審議いただきたいと思います。資料3の事務局案といたしましては、毎年度の点数の平均点をとりましてBと。先ほどと同じ、おおむね計画どおりに進んでいるということでございますけど、いかがでしょうか。よろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

【豊田委員長】 ありがとうございます。それでは、業務運営の改善及び効率化につきましてもBという評価、おおむね計画どおりに進んでいるということにさせていただきます。

ありがとうございます。以上で大項目評価が終わりましたので、続きまして、第1期中期目標期間における業務実績の全体評価に入ります。

それでは、その評価結果(案)につきまして事務局から説明をお願いします。

【事務局(黒田)】 地域医療対策課の黒田でございます。

第1期中期目標期間の業務実績に関する評価結果(案)につきましてご説明を申し上げます。

資料8、評価結果(案)の1ページをごらんください。資料8でございます。その1ページでございます。

まず、全体評価でございます。先ほど、評価委員会として、1つ目の大項目、平成25年、第1、市民に対して提出するサービス、その他の業務の質の向上の第1期中期目標期間の評価につきましてはB評価をいただきました。また、2つ目の大項目、平成25年、第2、業務運営の改善及び効率化につきましてもB評価をいただいたところでございます。どちらの大項目につきましてもB評価でございましたので、全体評価としましては全体として第1期中期目標をおおむね計画どおりに進んでいるとさせていただきます。

全体評価についての総括でございますけど、中期目標で記載しております3病院の組織融合、地方独立行政法人制度の特徴を十分生かした病院運営、病院を取り巻く環境の変化への迅速な対応、医療の質のさらなる向上に努めていること、これらの取り組みに対して一定の成果を上げたことは一定の評価ができるとしております。

次に、1つ目の大項目、第1、市民に対して提供するサービス、その他の業務の質の向上についての総括でございますけど、救急医療体制を強化、各分野における高度医療及び急性期医療の積極的な取り組み、医療職の人材確保、患者サービスの向上について取り上げております。また、特筆すべき取り組みでございますけど、資料4、第1期中期目標期間における業務実績報告書に記載されておりますので、説明は省略させていただきます。

続きまして、2ページをお願いします。

2つ目の大項目、第2、業務運営の改善及び効率化についての総括でございます。これにつきましては、人事評価制度の導入、7対1入院基本料の維持など、さまざまな取り組みが実行されていることについて取り上げております。また、特筆すべき取り組みは、先ほどと同様に、資料4、第1期中期目標期間における業務実績報告書に記載されておりますので、省略させていただきます。

続きまして、3ページをお願いいたします。

その他でございます。地方独立行政法人病院と民間病院の統合は全国初のケースでありまして、法人化と統合のモデルケースであること、また、法人において医療機能の充実と経営改善の両面が一定程度なし遂げられたことから、成功であったと評価できるとしております。また、新病院の開設に向けては、人的資源である医療スタッフと物的資源であるベッドや医療機器などの設備を集約し、医療機能及び医療提供体制を再構築することが必要であり、それに向けての準備を強力に推し進め、市民の期待と信頼に最大限応えていくことを期待するとしております。

以下のページにつきましては、先ほど総合医療センターからご説明がありました第1期中期目標期間における業務実績報告書でございますから説明は省略させていただきます。

なお、資料6と7につきましては、参考に評価を行っていただきたいというふうに思っております。

以上でございます。

【豊田委員長】 ありがとうございます。

それでは、ただいま事務局から説明がございました全体評価の案でございますけれども、委員の皆様方から何かご質問、ご意見、ございませんでしょうか。

伊佐地先生、何か。ほかの委員の皆様、どうですか。

【木村委員】 全体評価としてはいい結果でいいと思うんですけど、この経常収支比率が平成25年度100%を達成できていないということについて、留意というか、ただ

し、こういうことは頑張ってもらいたいとか、何らかりマインドというかをしてもらったほうが評価委員として全体全部を合わせてBというだけじゃなくて、平成25年度の特異な事情は理解しているので、それを乗り越えて頑張ってもらいたいとかいうような意見があってもいいんじゃないかと思います。

【豊田委員長】 ありがとうございます。

じゃ、そういうコメントをどこかに追加させていただきたいと。

【事務局（黒田）】 それは評価委員会としての附帯意見みたいな感じなんですか。

【豊田委員長】 そうですね。附帯意見か、どこかにですね。

【事務局（黒田）】 わかりました。委員長、それにつきましてまた作成させていただきまして、委員長にも目を通していただいて、正式なものとしてさせていただきたいというふうに思います。

【豊田委員長】 表現の仕方としては委員長一任ということでお願いということでもよろしいでしょうか。また皆様に相談をさせていただきます。

ほか、ご意見、ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、全体の評価といたしましてはBという評価ですね。第1期中期目標をおおむね計画どおりに進んでいるということにさせていただきまして、先ほど木村委員から提案がありました附帯意見につきましては、それを委員長一任ということで何らかの形で書き加えまして、また皆様の同意を得た上で最終的な評価結果にさせていただけたらと思います。そういうことでよろしいでしょうか。

ありがとうございました。それでは、これで本日の議事は終了ということでよろしいでしょうか。

じゃ、事務局へお返しいたします。

【事務局（加藤）】 どうもありがとうございました。

それでは、本日ご審議いただきました第1期中期目標期間の業務実績に関する評価結果（案）についてでございますが、業務実績に関する評価の基準に、評価委員会は評価結果の決定に当たり、法人に対し評価結果（案）に対する意見申し立ての機会を付与するとございますので、したがって、事務局から法人に対しまして本日の案を提示し、意見聴取したいと思いますが、委員の皆様、それでよろしいでしょうか。

【豊田委員長】 よろしいでしょうか。

異議なしです。

【事務局（加藤）】 ありがとうございます。

また、法人から意見聴取をいたしました後に意見等がございました場合には、評価結果の取りまとめでございますが、まことに申しわけございませんが、委員の皆様への持ち回り決裁後に委員長一任という形にさせていただきたいと思っておりますが、それでよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

【事務局（加藤）】 ありがとうございます。

それでは、本日は、長時間にわたりましてご議論をいただきまして、まことにありがとうございます。また、委員の皆様には、3回にわたりまして平成25事業年度の業務実績報告、平成25年度財務諸表、そして、第1期中期目標期間の業務実績報告に対しまして貴重なご意見をいただきまして、まことにありがとうございました。

これにつきましては、今後、また市長への平成25事業年度の業務実績に関する評価結果、平成25年度財務諸表に対する意見書、そして、第1期中期目標期間の業務実績に関する評価結果の提出につきましては、豊田委員長と日程等を調整いたしまして市長のほうに報告したいと思っておりますので、また近日中に報告をさせていただきます。

それでは、以上をもちまして、平成26年度第3回地方独立行政法人桑名市総合医療センター評価委員会を終了させていただきます。ほんとうにどうもありがとうございました。

— 了 —